兵庫県保険医協会

2014年 5月25日号 No. 236 発行者 兵庫県保険医協会北阪神支部 支部長 中井通治

〒 650-0024 神戸市中央区海岸通 1-2-31 神戸フコク生命海岸通ビル5階

☎(078)393-1801 FAX(078)393-1802

http://www.hhk.jp/

職員接遇研修会を開催

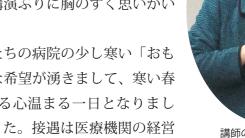
【感想文】

治療効果を向上させる「おもてなし」へ

北阪神支部は4月19日、伊丹市立産業・情報センターで「職員接遇研修会」を開催。大手前 短期大学教授の水原道子先生が「医院スタッフの接遇の基本~医療機関の『おもてなし』~」と題 して講演し、42人が参加した。講師の水原先生は、相手に良い印象を与える笑顔や接し方など、ロー ルプレイを交えてわかりやすく解説した。以下、感想文を紹介する。

私たちの病院の職員が必ずしも心地よい「おもてなし」をしていな いような気がして、何か少し寒いものを日ごろ感じておりました。 そんな中、4月19日に協会北阪神支部主催の接遇研修会に参加して、 接遇の基本的な姿勢や具体的な方法を、大手前短期大学教授の水原道 子先生よりお聴きして、まずその軽妙な講演ぶりに胸のすく思いがい たしました。

それと共に、このような方向性で、私たちの病院の少し寒い「おも てなし」の雰囲気も良くしていけるような希望が湧きまして、寒い春 の日ではありましたが春の訪れを実感する心温まる一日となりまし



講師の水原道子先生

会話のロールプレイを交えた体験的な研修を行った

において大切な機能のひとつ であり、病院の盛衰にもかかわる重要な課題です。また、 より良い「おもてなし」が患者の心をやわらげて温か

くし、ひいては治療効果をも向上させる、ちょっとし た魔法のような気もいたします。

明るく、少しハイになって、笑顔で患者さんに接す ることが基本とのことです。そして、気持ちの良い対 応をするには、いくつかのノーハウがあることも学び ました。また医療行為と診療契約の責任上、不明瞭な対

応が許されない点があることも再確認しました。さらには対応困難症例への対応方法にも、いくつ かのヒントが得られました。

水原先生の講演には、これらのエッセンスが散りばめられており、有意義な研修をさせていただ いたと喜んでおります。 【伊丹市·近畿中央病院副院長 高見 宏】

毎年大好評です!ご家族・職員の方もぜひご参加ください。

兵庫県保険医協会北阪神支部 レクリエーション企画



オリジナルの作品を作ってみませんか?

湯呑みやお茶碗、丼ぶりなどお好きなものを手回しろくろを使って作ります。初めての方や子 どもさんでもお楽しみいただけますので、ご家族や職員の皆さまも奮ってご参加ください!

日 時:6月21日(土)15時~17時頃

場:サンシティ伊丹1F・陶芸室

(伊丹市中野西 1 丁目 148-1 TEL:072-783-2350)

師:丹波焼陶工 上中稲右衛門先生

参加費:大人 2,000 円 (製作±800 g)

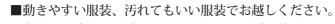
子ども 1.000 円 (製作土 500 g)

定 員:30人 (※定員になり次第締め切ります)

持ち物:エプロン、タオル等

※専用駐車場あり。市バス JR 伊丹・阪急伊丹両駅前より約 20 分。 お申し込みいただいた方には別途詳しくご案内いたします。

サンシティホ-



■制作は2点まで。当日は形をつくる(形成)体験のみです。制作した作品は、 後日「稲右衛門窯」で焼成、完成いたします。

■作品のお渡しまで1~2ヵ月程かかります。配送をご希望の場合は着払いと なります。直接引き取りも可能ですので、当日会場でご相談させていただきます。

お問合わせは事務局・小西、横山、小川まで TEL:078-393-1807

【参加お申し込み】FAX 返信: 078-393-1802

保険医協会北阪神支部 陶芸体験(6/21)

参加者氏名	○をお付けください			
	大人	•	子ども(歳)
	大人	•	子ども(歳)
	大人	•	子ども(歳)
	大人	•	子ども(歳)

地区)医療機関名(

) 連絡先:(TEL/ 代表者名:(

FAX/

第85回評議員会・谷口紀善評議員が発言

協会は5月18日、協会会議室で第85回評議員会を開催。北阪神支部からは谷口紀善先生(伊丹市)が「日本を不幸にする安倍政権」について発言した。また、金川清人先生(宝塚市)も組織、予算に関する質問を行った。谷口先生の発言要旨を紹介する。

「日本を不幸にする安倍政権」

安倍総理は、国民の幸福より、「総理としての幸福」を追い求めている。集団的自衛権の行使を容認する解釈改憲を強行することで、歴史に名を残したいのか。それよりも先にやることがある。

まず、もともと消費税増税の言い訳として、「消費税増税分は社会保障の充実に使う」、「身を切る改革を行う」、「議員削減などを行う」などと野田前首相と自民党が約束し、その後、自民党が政権を奪回した。国民の手前、震災復興のためという名目で国会議員の報酬を2年間減俸することを決めたが、今年4月、再び元に戻すとしている。早く議員削減をすべきである。議員1人に年間6200万円を支払っているが、それは、すべて私たちの税金である。



谷口紀善評議員

一方、国民には消費税 8%で 8 兆円もの負担を強い、社会保障に使うのではなく、多くを財政再建にまわし、大企業には優遇策をとる反面、中小企業はいまだに景気回復の実感はない。今年になって、さらなる大増税を行い、年金は下がる。医療や介護も改悪され、暮らしは今、悲鳴を上げている。

さらに、安倍総理はオリンピック招致では、福島の原発汚染は完全にブロックされているなど国際的な場で発言されているが、果たして実際はどうか。結局、除染を国費で行うことを決め、数兆円かかり、全国民 1 人あたり 3 万円くらいの負担となる。しかも、多くの震災復興税が優先的に復興に使われるのではなく、官僚の宿舎の新築費 623 億円など、その他のことに使われている。すべてがあいまいである。

TPP参入による、日本の医療分野への市場原理主義の導入により、混合診療の全面解禁となり自由診療の領域を広げることで、日本の国民皆保険制度が崩壊することになる。すでに、政府の規制改革会議は3月27日、まず、「選択療養費制度」を提案し、保険が適用されない診療を「選択療養」とし、保険診療と併用できるとし、それにより根拠のない保険外診療が広がり、高額な有効な新薬を自費とし、金のある人しか、受けられないこととなる。安全を確認して保険適用するように力を尽くすべきである。

最後に、国民に不幸を強いる政策が進められようとしている。国民の大半は医師も含めて、政 治などにはほとんど、無関心でなんとかしてくれるだろうと、じっと辛抱しているのが現状である。 2014年5月25日(毎月3回5・15・25日発行)兵庫保険医新聞(昭和43年6月12日第三種郵便物認可 年間購読料12,000円)号外 3



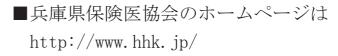
☆北阪神支部ニュースへの投稿を募集しています

支部ニュースへの投稿を募集しています。

日常診療にかかわることや、主張、趣味のお話などお寄せ下さい。

TEL 078-393-1801 / FAX 078-393-1802 e-mail junki@doc-net.or.jp 担当;横山まで

お知らせ





*生涯研修に役立つ各種研究会のご案内、おトクで安心な共済制度のご紹介、日々の協会活動のご報告を掲載しております。

健康情報テレホンサービス

通話料無料 (0120) 979-451



<5月のテーマ>

月曜日 老後のセクシャルライフ

火曜日 診療報酬改定で何が変わったのか

水曜日 足にこむら返りが起こったら

木曜日 肺炎球菌ワクチンの効用

金土日 爪に入った水虫

< 6月のテーマ>

月曜日 目のかすみと白内障

火曜日 診療報酬改定で何が変わったのか

水曜日 あなたも骨粗鬆症?

木曜日 認知症を抱える家族へ

金土日 役に立つお薬手帳



第 322 回幹事会だより

5月15日(土)伊丹市産業・情報センター 会議室B

- ◆北阪神支部の会員数と組織率 5/12 現在 医科 322 人 (71%)、歯科 169 人 (52%)
- ◆医療をめぐる情勢と運動対策 医療介護総合法案について、保団連・協会による中央要請行動について
- ◆当面の支部活動

5月31日(土)医院経営セミナー「モンスターペイシェントからのクレーム対策」 伊丹市産業・情報センター会議室A 14:30~

6月21日(土)レクリエーション企画「丹波焼陶芸体験」 サンシティ伊丹 陶芸室 15:00~(案内4面)

以上を開催予定

お問い合わせは 12 078-393-1807 小西・横山・小川まで